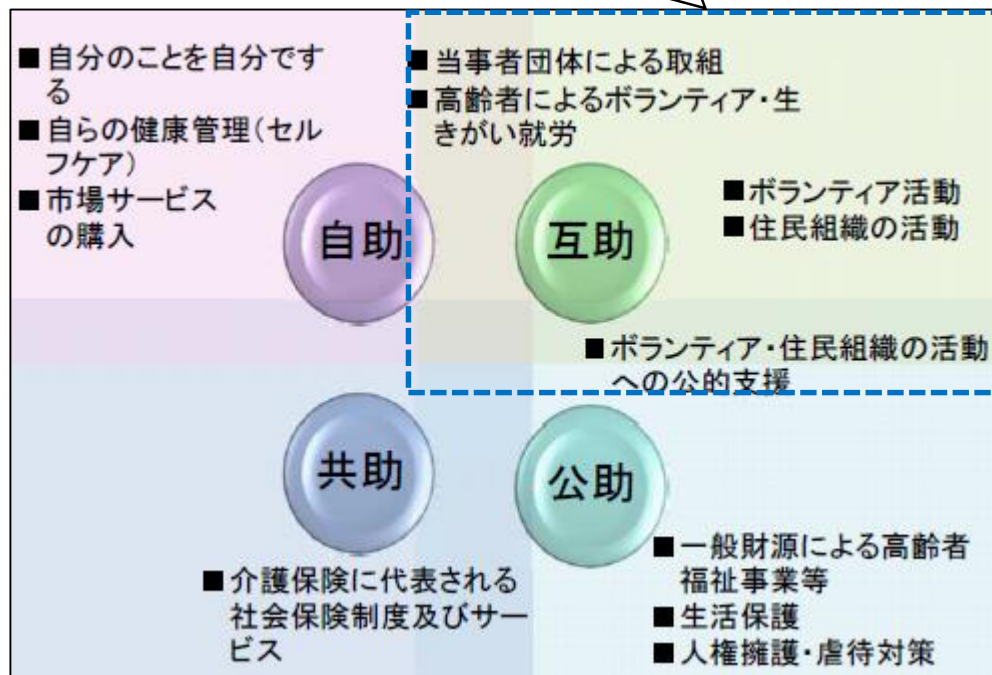


・議事（2） 第1層・第2層が連携した業務の進め方について

○生活支援体制整備事業の目的（確認）

生活支援体制整備事業の目的は、  
高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化 と 高齢者の社会参加  
 を推進し、この部分を広げていくこと。  
 ※高齢者が社会参加することで介護予防につながる



※「自助・互助・共助・公助」からみた地域包括ケアシステム（厚生労働省資料抜粋）

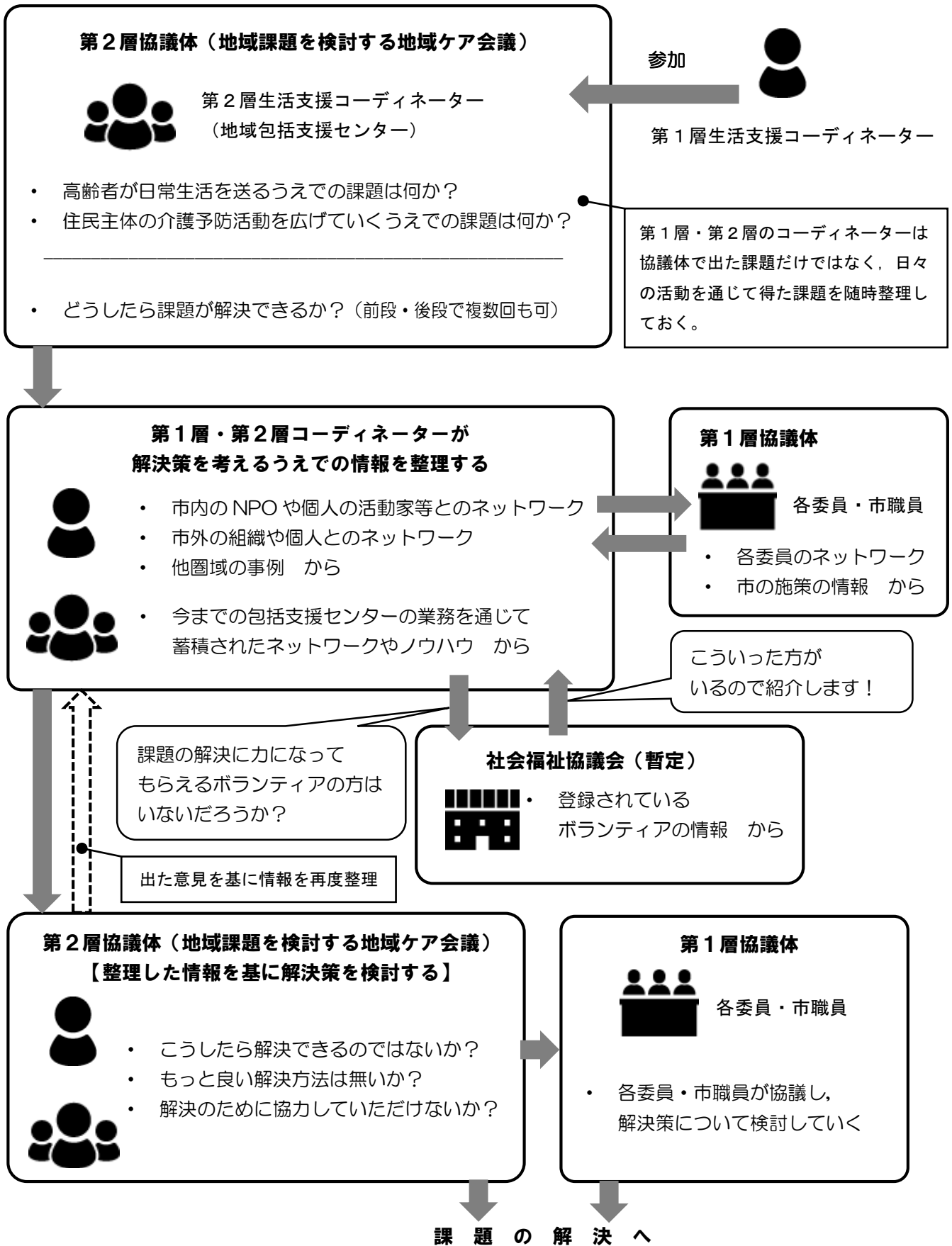
上記の「高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化」と「高齢者の社会参加」を推進していくのが、第1層（市全域）・第2層（日常生活圏域）の生活支援コーディネーターと協議体である。

基本的には、第1層・第2層の生活支援コーディネーターが、

- ・ 地域における支えあいの普及啓発
- ・ 高齢者の日常生活上の課題解決
- ・ 住民主体の介護予防活動（通いの場・サロン等）の拡充
- ・ 高齢者の生活支援・介護予防の活動に取り組む担い手の育成

について、協議体と情報共有・連携を図りながら取り組んでいくものである。

○第1層・第2層が連携した業務の進め方（案）



○論点 第1層・第2層が連携した業務の進め方は基本的にはこのような流れで良いか